

兵庫県商工新聞

編集 兵商連新聞編集委員会
発行 兵庫県商工団体連合会
〒652-0811 神戸市兵庫区新開地4-4-12
☎ (078) 341-0563 (代)
FAX (078) 341-0885
http://www.hyoshoren.co.jp/
Email: info@hyoshoren.co.jp

2017年2月
第294号

戦争をする 国づくりを許すな 沖縄に基地は いらぬ



21日、那覇空港到着後、名護民商をたずね、沖縄県連の仲本興真会長の案内で、東村高江に向かいました。案内をしていただいたのは、環境NGO・やんばるの自然を歩む会の玉城長正さん。山歩歴50年のベテランです。車で走り、所々で停まりながら、パネルを手に話してくれました。「ブロッコリーのような森には、やんばる固有の亜熱帯の照葉樹林、ノグチゲラややんばるのくいななど、貴重な生物が生きて育っている。政府はSACO合意を基に、この森を世



「昨年12月22日に政府が開いた北部訓練場の返還記念式典は空席だらけだったのに対し、オール沖縄会議が開いたオスプレイ撤去を求める緊急抗議集会は

21日、那覇空港到着後、名護民商をたずね、沖縄県連の仲本興真会長の案内で、東村高江に向かいました。案内をしていただいたのは、環境NGO・やんばるの自然を歩む会の玉城長正さん。山歩歴50年のベテランです。車で走り、所々で停まりながら、パネルを手に話してくれました。「ブロッコリーのような森には、やんばる固有の亜熱帯の照葉樹林、ノグチゲラややんばるのくいななど、貴重な生物が生きて育っている。政府はSACO合意を基に、この森を世

自然破壊の高江

安倍政権は、日米同盟に固執して「戦争する国づくり」をめざし、日本国憲法まで変質させようとしています。昨年、参議院選挙直後、沖縄・東村高江でオスプレイの建設強化、年明けからの辺野古新基地建設の調査再開。自然や環境、人々の暮らしを壊し、日本を再び戦争の道へと陥れる安倍政権。許せるものはありません。「オスプレイ配備やめる!」「新基地建設反対!」建白書を守らせるたたかいは、沖縄県民の願いです。1月21、23日、民商・兵商連は、14人が沖縄を訪ね、たたかいを学び、抗議し、交流を深めました。



「座り込みガイドライン」
1. 私たちは非暴力です。コトバの暴力も、強もみもつけたくありません。
2. 自分の意志で座り込みに参加しています。誰かに何かを強いられることはありません。自分の体調や気持ちなど、大切にしたい人や物など、事前に周囲の人にひと声かけて下さい。トウシューズやケイタイを脱ぎ捨て、ゆりのないように!
3. いつでも愛とユーモアを「ヘリパッド」にいる民商の会

界自然遺産に登録すると言いつつ、北部訓練場の一部を返還し、我々を騙し、一気にヘリパッド建設を強行してきた。7月22日、私たちは何度投げ飛ばされても座り込み、やんばるの森を守るためにたたかった。環境には

「もう戦争はしてはいけない」「自然を大切にしたい」という、切実な願いが伝わりました。いよいよ、このちを張ってたたかいは、最前線で奮闘する、高江の皆さんから、「基地はいらぬ!」

辺野古の海を守れ

翌22日は、名護民商で新基地建設反対名護共同センターの早坂義郎さんを講師に学習。「昨年12月22日に政府が開いた北部訓練場の返還記念式典は空席だらけだったのに対し、オール沖縄会議が開いたオスプレイ撤去を求める緊急抗議集会は

4200人が集まり、2つの集会の違いが明らかになった。「海兵隊はもう撤退して欲しい!」これは、名護市民の願い。基地があるがために、凶悪な事件が次々に起こる。米兵は日米地位協定で守られている」と話します。1995年の少女暴

沖縄・名護民商での交流



1月21日夜、名護民商で連帯の交流を会開いていただきました。参加者の全員発言、「座り込めここに」「沖縄を返せ」をみんなで歌い、拡大で悪政に反撃しようと、誓いあいました。本当に、ありがとうございました。



後ろから追いかけてくる巡視船「今すぐ出ていきなさい」との警告が

午後からは、汀間港から辺野古へ平和丸に乗り、大浦湾を渡りました。最高裁判決を受け、昨年から地質調査が再開し、オレンジ色のフロート（浮き）とオイルフェンスを海に張り出しました。船とカヌーで「美しい海を守ろう」と、抗議と監視を続ける市民らに対し、政府は1日2千万近くの税金を費やし民間巡視船を雇い、排除しようとしています。「沖縄に基地はいらない」「あきらめない」、辺野古のテ

今年、憲法施行70年、沖縄のたたかいは、連帯し、戦争する国づくりを許さないたたかいを広げましょう。

安部の丘で平和を誓う

帰神も迫る23日は、嘉手納基地の安部の丘で大団幕を広げ抗議、上からは耳が痛くなるジェット機の騒音が聞こえます。今年、憲法施行70年、沖縄のたたかいは、連帯し、戦争する国づくりを許さないたたかいを広げましょう。

も草木が新しく張り、鋤きなどが本義に近いか? 最近、西神戸の高齢者施設に妻と同居し、余命の日々を過ごしている。過ぎし日に続く現実を見てみると、いささか不安。取り越し苦労と言われそうだが、過去、営業の傍ら業者運動に加わっていた頃、「民商の成り立ち、歴史」の勉強が時に応じ、事に応じ、あったと思う。それは今ではどうだろう。自主記帳、自主申告、更に民商の成り立ちの経過など、機更月際に際し考える必要があるはしまいか。取越し苦労なら、▼そもそも民商運動の発端は兵庫県但馬地方に起こったことである。敗戦により米軍が日本を支配し、当然行政にも手をのばし、国内発の権力で但馬の農家に圧力を加え、それに対して農民運動が起こった。それが民商運動の始まり。今一度、振り返ろう。機更月! (1)





自主計算を貫こう 自主申告

仲間の知恵寄せ合う班会

【垂水民商・舞子多聞支部】

垂水民商では、1月18日から班会を開いています。清水ヶ丘班では、自主計算帳の科目で「新聞代を経費にしていなかった」「車の原価償却が終わった」の話が。また、「現場に入



神陵台班の班会

1・26中小業者国会総行動の参加者に署名を託そうと、回収の段取りも決めました。神陵台班では、昨午入会の会員も集まり開催。自主計算パンフレットを開いて学習しました。初めての申告なので、みんなで帳面

の整理の仕方や科目の分け方など教え合いました。舞子台班では、商売のことやくらしのこと、消費税のことを話し合いました。「仕入れに消費税を払うが、価格に転嫁できない。今年は、野菜が高くて大変だった」(お好み焼き)と。「保証協会

の面接があり事業計画書を提出。結果がまだなので心配」「安倍政権は、もうあかん！原発ゼロをめざすべき！」など多くの意見が出されました。大宣伝で民商を知らせ、組織を大きくし仲間を増やそうと話合いました。(垂水・山口通信員)

話せば話すほど、怒りが

【兵庫民商・松原支部】

兵庫民商・松原支部は1月19日、班会を会員宅の田香煙で開き、4人が参加しました。今回は確定申告前という事もあり、自主計算パンフレット、国民健康保険料引き下げを求める請願署名を片手に意見交流。

参加した萩原知子さん(84歳・小売業)からは「2018年に予定されている国民健康保険の都道府県化にともない、神戸市はこの独自控除を廃止しようとしている。もしそれが本当になると、高額



兵庫民商・松原支部の班会

平和と憲法を守ろう

阪神・淡路大震災22年メモリアル集会



阪神・淡路大震災から22年を迎えました。午前5時46分、各地の被災地では、黙祷が行われました。当時、中小業者は店や工場の再建には借入しか手段がなく、地域で必死に商売を続けてきました。しかし、道半ば

に商売をたたまなければならぬ方も多く、代位弁済の累計は昨年未で、7087件、542億2600万円に達しています。兵商連も加入する阪神・淡路大震災救援・復興兵庫県民会議は、震災22年メモリアル集会を神戸市勤労会館で開催。300人以上が参加しました。記念講演は、岩手県・陸前高田市の戸羽太市長(写真上)。2市四方の中心市街地が津波ですべてなくなっ

てしまった事、「多くの方がお亡くなりになり、市民がみんな泣いている。どうしたら少しでも笑顔になってくれるか」と、被災地市長としての思いを話されました。そして、神戸の復興に対し、「85歳だから住宅から出て行け」というのは論外。生きていてよかったと思える町へ、政治が原点に返ることが必要」と訴えられました。また、熊本県益城町在住の上田たか子さんが被災地報告を行いました。

私の商売ものがたり

NO.170 当銘 英世さん (害虫駆除) 尼崎民商



大学時代から父親の会社(害虫駆除)でアルバイトをしながら28才で会社を立ち上げた当銘英世さん。「最初は上手いかず月収が6万円位の時もあった」と話します。仕事の転機になったのは、お世話になった社長から「外に出

安心・安全にこだわって

新春ツイズの答え

「活動」とアドバイザースされ、地域の奉仕活動に足を踏み出した頃。近くの幼稚園から、「シロアリ駆除の説明は上手いかず、まわりに広めて欲しい」と、保護者の後押しもあり、シロアリに特化したHPを作成。小規模企業持続化補助金を受けました。お客さんには施工後、写真をファイルして渡し、工事内容をわかり

税金の滞納で一番多いのは消費税です。納税の誠意が認められる納税者に分割を承認する「納税の緩和措置」があります。昨年4月より、納期限から6ヶ月以内に申請する「申請型換価の猶予」も創設されました。

経営情報

猶予中は延滞税が免除されます。納税の相談は民商へ。

補助金学習会でやる気もアップ!

【灘民商・青年部】

灘民商青年部は1月9日、「小規模企業持続化補助金」の学習会を開き、14人が参加しました。講師は兵庫協会の雨松真希人会長(歯科技工士)。

「補助金が実現すれば参加したい」、「説

されやすい」との話し、参加者から、「資料に載せる図や写真の探し方」、「自分の事業なら、どんな書き方が良いか」など踏み込んだ質問も出されました。

参加者アンケートでは、「また、機会があれば参加したい」、「説

明が上手く大変良かった」との感想も。4人の会員外の方からも、「良かった」との感想が寄せられました。

灘民商青年部では、今後も定期的に補助金学習会を開催し、学び合う予定です。(灘・向堂通信員)



私も今年から、国民年金を受け取る年齢になりました。消費税10%の増税を展望し、年金の受給資格が25年加入から10年に短縮に。これで、国民生活が、少しは楽になるのでしょうか? (S)

編集後記